

## 福井ふるさと学びの森 若狭エリア 第3回体験イベント 「里山と虫の不思議な関係」

- 1 日 時 平成29年8月20日（日）9：00～12：00
- 2 場 所 福井ふるさと学びの森（若狭町気山）
- 3 参加者 小学生親子7名
- 4 講 師 萩原 茂男さん（ふるさと研究員）
- 5 内 容

### （1）森と虫との関係

萩原さんは地球上にどのくらいの種類の昆虫が生息しているのか哺乳類、爬虫類、魚類といった他の生き物と比較しながら説明しました。また、昆虫の足や羽根の付き方など昆虫の体の仕組みについてもお話しました。最後に豊かな森が育つためには多様な虫たちがいる必要があり、また森も虫たちの貴重な住みかであるといった森と虫の関係についてわかりやすく説明しました。



### （2）夏の里山散策

里山の散策を行いました。子どもたちは石や枯れ木をめくったり、土を掘ったりし、虫を探しました。アリ、バッタ、カブトムシなど多くの種類の虫を見つけることができました。



### （3）スギの選木教室

秋に間伐を行うための準備として切らずに残していく木に目印をつけていく作業を行いました。萩原さんは間伐の必要性和間伐する木は木の大きさや間隔や傷を考慮しながら行っていくことを説明しました。萩原さんの話を聞き、試行錯誤しながら参加者は木に目印をつけていきました。選木後、参加者は以前に間伐した場所を見学し、間伐後の明るさを実感しました。萩原さんは間伐を行うことで林床に光が入り、生物の多様性が生まれ、森が豊かになるということ説明しました。

